

# 仙台の災害の歴史

## 東日本大震災と資料レスキュー活動

仙台市博物館 学芸普及室 阿部 さやか

### 第3回

#### 東日本大震災と歴史資料

平成二十三年(二〇一一)三月十一日に発生した東日本大震災(以降、「震災」と略記)から、今年で十年を迎えます。

この震災では、多くの人命が奪われましたが、各地の歴史資料にも甚大な被害をもたらしました。歴史資料には古文書こもんじょのほか石碑、生活道具など当時の暮らしを伝える幅広いモノが含まれます。その所在は博物館に限らず、地域の学校や寺社、個人宅などさまざまです。

仙台市内でも、沿岸部を襲った巨大津波により、海水に浸かるなどして大量の資料が汚損しました。

#### 資料レスキュー活動

災害などによる汚損、破損、紛失等から資料を保全する取り組みを「資料レスキュー活動」と呼びます。震災後、仙台市博物館ではNPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク(略称「宮城資料ネット」)などと連携し、資料レスキュー活動を行いました。



被災資料の洗浄作業の様子(2012年2月20日撮影)

まず、震災後の四月から、被災状況を知るために市内の巡回調査を実施しました。展覧会や、当時、当館で行われていた市史編さん事業との関わりで、震災以前から把握している資料もありましたが、巡回調査を通して新たに発見された資料もありました。

館内では被災資料の一時保管や応急処置を行いました。荒浜小学校など当時沿岸部にあった学校からは、津波で水損した公文書である学校日誌や卒業アルバムといった、計四百点余りの資料が搬入されました。大量の資料を博物館職員だけで



荒浜小学校からレスキューされた資料  
左:校名表札、右:棟札  
(荒浜小学校 旧蔵資料)

仙台は過去にも地震、水害、火災などさまざまな災害に見舞われてきました。私たちがいま見ることのできる資料は、災害を乗り越え、多くの人々の努力によって現在に伝えられてきたものなのです。

#### 現在に伝わる歴史資料

対応するのは困難で、これらについては国立公文書館の修復支援事業で応急処置を行っています。平成二十四年一月から三月にかけて、市民など十八名が修復研修生として作業にあたりました。応急処置は、カビの発生を防ぐためのエタノール散布、泥や塩分を落とす洗浄など、資料の材質や状態を考慮して行います。また、記録撮影や目録作成などの整理作業も重要です。大量の資料を救い出すためには、このような知識や技術を身につけた多くの人たちの参加が不可欠でした。

こうして保全された資料は所蔵者のもとへ返却されました。また、博物館などに

寄託・寄贈された資料もあり、すでにその一部は展示で公開されています。

## 仙台市史

全32巻

市制100周年記念事業として編さんが行われた仙台市史は、原始から平成元年に仙台が政令指定都市となるまでの事象をあつかい、最新の研究成果を盛り込んだ内容になっています。

「通史編」9巻のほか、古代から現代までの歴史資料で構成される「資料編」13巻、特定のテーマを詳しく掘り下げた「特別編」9巻に、「年表・索引」1巻を加え、全32巻が刊行されています。仙台市史を通して、仙台市の歴史に思いをはせてみませんか。購入方法等は博物館HPでご覧いただけます。



- 通史編 原始、古代中世、近世1~3、近代1・2、現代1・2
- 資料編 古代中世、近世1~3、近代現代1~4、仙台藩の文学芸能、伊達政宗文書2~4(伊達政宗文書1は完売)
- 特別編 自然、美術工芸、市民生活、板碑、民俗、城館、慶長遣欧使節、地域誌(考古資料は完売)

#### 臨時休館のお知らせ

仙台市博物館は、2月13日の地震による施設設備の点検・修繕等のため、当面の間、臨時休館します。

利用者の皆さまには、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。再開館の日程が決まり次第、当館のホームページや公式ツイッターなどでお知らせいたします。

仙台市博物館  
SENDAI CITY MUSEUM

▶博物館ホームページ  
▶博物館ツイッター

仙台市博物館 検索  
@sendai\_shihaku

※開館状況など最新の情報は、博物館ホームページをご覧ください。

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) TEL:022-225-3074